アドミッションセンター報告書（第13号）の刊行にあたって

アドミッションセンター長 西郡 大

アドミッションセンターの活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。アドミッションセンターは、入学者選抜の企画・広報・実施等の業務を行い、佐賀大学の教育研究の充実発展に寄与することを目的として、2007年10月に発足しました。発足から14年がたち、皆様のご支援により活動が実績に結びついてまいりました。

高大接続改革の1つの柱である佐賀大学版C B Tでは、タイプⅠの「基礎学力・学習力テスト」を理工学部、農学部、経済学部の学校推薦型選抜Ⅰ、タイプⅡの「思考力・判断力等を問うテスト」を理工学部（化学分野）、農学部（国際・地域マネジメントコース）の総合型選抜Ⅰ、タイプⅢの「英語技能テスト」を教育学部（英語分野）の総合型選抜Ⅰで実施しました。これに加えて、芸術地域デザイン学部と医学部の編入学試験でも実施し、全学部でC B Tを実施することができました（受験者総数は251名）。

また、特色加点制度は2021年度入試より医学部を除くすべての学部の一般選抜で導入できたことにより、「多面的・総合的に評価する新しい評価・判定方法を全学部を導入する」という第3期中期計画を達成することができました。また、インターネット出願と連動した書類審査の仕組み（J-Bridge System）は、大学入試のD Xとも呼べるもので、一般選抜における効率的な書類審査を実現しています。

そして、継続・育成型高大連携カリキュラムは、「教師へのとびら」「科学へのとびら」「医療人へのとびら」「社会へのとびら」「アートへのとびら」が全6学部で開講され、新型コロナウイルスの影響により、オンライン形式中心にはなりましたが、課題研究を動画にまとめ発表するなど、それぞれが工夫したプログラムを実施しています。

昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルスの蔓延により、対面による広報活動や高大連携活動が実施できず、オンラインを活用したオープンキャンパスやジョイントセミナーなどを余儀なくされました。そのなかで特任講師による時宜を得た高校訪問活動は有効な広報活動及び情報収集活動として機能しています。ぜひ、本報告書の高校訪問の報告書をご覧ください。

入試制度、追跡調査、入試広報、高大連携活動などについて改革や改善を進める際に、本センターまでご相談ください。令和4年度も皆様には、一層のご支援、ご助言を頂きますようお願い致します。

令和4年3月

目 次

1. 令和3年度一般選抜志願者動向に関する分析	1
2. 令和3年度一般選抜データの検証（合否入替り率と共分散比）	4
3. 令和3年度学部新入生アンケート調査分析結果	21
4. 令和3年度オープンキャンパス報告書	55
5. 令和3年度ジョイントセミナー参加者アンケート分析結果	80
6. 令和3年度高校教員対象の入試説明会実績	87
7. 令和3年度高校訪問報告書	95
8. 受験生応援サイトアクセスレポート	116
9. 令和3年度特色加点に関するアンケート調査報告	153
10. 平成29年度入学者の追跡調査	163
11. 特別選抜に関する志願者動向分析	173
12. 経済学部における改組後の志願者動向分析	201
13. 医学部医学科入試制度検討のための分析報告書	208
14. 大学入試研究ジャーナル掲載論文	228
15. アドミッションセンター専任教員活動実績	235
16. 令和3年度アドミッションセンター業務実績	246
17. 令和2年度自己点検・評価書	260